

Rotary



WEEKLY NEWS 【7回】 2021-2022 年度



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

国際ロータリー第 2640 地区

和歌山東南ロータリークラブ

週報

通算 2398 回

会長:中曾真二郎 幹事:山田さち子 会報委員長:坂本武司

事務局 E-Mail: rotary@wakayama-senc.org http://wakayama-senc.org/

例会日 水曜日 例会場:ルメール華月殿 第1, 第2, 18:30~(夜) 第3, 第4, 第5, 12:30~(昼)

本日の例会
10月13日(水)
18:30~華月殿

・開会点鐘 中曾会長 ・ロータリーソング 花になろう 鳥になろう ・出席報告(例会委員会) ・ニコニコ箱(寄付金)報告 ・委員会報告 ・ガバナー公式訪問 RI2640 地区 豊岡 敬ガバナー ・閉会点鐘 中曾会長

先週例会報告 会場監督 松田敏明

ゲスト: RI2640 地区 米山奨学生 庄 秀様(世話クラブ 海南東RC)
ビジター: 海南東RC 阪口洋一様

《 会長挨拶 》 中曾真二郎会長

皆さんこんにちは。

本日は、米山奨学生の庄秀(ショウシュウ)様、世話クラブの海南東RCのカウンセラーの阪口洋一様ようこそお越しくださいました。後程、どうぞよろしくお願い致します。今月は米山月間となっておりますので皆様ご協力お願いいたします。

本日は10月度第一例会のため、クラブ細則第3条第1節第1項により、11月度第一例会において、次々年度会長、次年度役員および理事の各候補者を選出することを告知します。選挙の方法等は、細則第3条第1節をご確認ください。

今日は、飲料水を持ってきてくださりご協力ありがとうございます。後ろに置いてもらっていますので断水でお困りの方はお持ち帰りください。

先週の幹事報告の中の理事会報告でわかりにくい部分があったかと思しますので補足説明させていただきます。定款細則上、「オンラインのつながりを使っての出席は認めない。」となっています。

「オンラインでの出席は出席扱いにならないような文面になっているところ、オンラインでの例会参加は出席扱いになるがE-CLUBへの例会参加は出席と認めない。」と理事会で解釈の確認をしたところですが、するしないは別として柔軟に対応できるようにしておいたほうがいいのかと考えました。

例会に出たいが少し難しいといった場合に操作さえできればオンライン上ではありますが顔をみれるというのは安心につながるかと思います。今回のIDMのテーマにもなっております。よろしくお願い致します。

来週はガバナー公式訪問になっておりますのでよろしくお願い致します。



本日の出席報告				寄付金	ニコニコ	米山記念奨学会	ロータリー財団	東南育英会	50周年記念BOX
会員総数	35名	出席者	出席率	累計	507,000	141,000	173,000	5,000	0
出席免除会員	3名	10/6	20名	62.50%					

《 幹事報告 》 山田さち子 幹事

- ① 2件事務局に届いておりますので、各テーブルに一部置いています。ご一読頂き、御入用の方はお持ち帰り下さい。
 - ・2021-2022年度 月信 10月号
 - ・サポセン和歌山第47号（更生保護サポートセンター）
- ② ロータリーレート 10月は1\$=112円です。
- ③ 2020-2021年度活動報告書を皆様のラックに入れてあります。お目通し下さい。
- ④ 森本ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ 開所日：10月1日（金）、住所：640-8331 和歌山市美園町3-34 けやき One301号室、TEL426-2640
- ⑤ 和歌山中RCとの合同例会・親睦ゴルフコンペのご案内。
今年のホストクラブは和歌山中RCです。皆様のご出席、宜しくお願い申し上げます。
『合同例会』日時・場所：11月19日（金）18:30～20:30、ダイワロイヤルホテル和歌山4F
『親睦ゴルフコンペ』日時：10月31日（日）スタート7:23、場所：紀伊高原ゴルフクラブ
- ⑥ 来週は豊岡ガバナー公式訪問です。例会場へのガバナー入場時に今年度地区推奨の新ロータリーソング「奉仕の光」をCDで流してお迎えいたします。皆様拍手でのお迎え、よろしくお願い申し上げます。
例会開催前、17:30～会長、幹事、ガバナー、ガバナー補佐との懇談会が行われます。
- ⑦ 和歌山市軟式野球連盟学童部東支部より毎年12月開催の「東支部納会」について、中止のお知らせが届きました。
- ⑧ ロータリーの友10月号 P20 ROTARY AT WORKに「ホルトノキを植樹」が掲載されました。皆様お目通しください。
- ⑨ 本日例会終了後、定例時理事会を開催致します。役員・理事の皆様、宜しくお願い致します。



令和3年 10月号 ロータリーの友 20 53

ロータリー アットワーク

ROTARY AT WORK

ホルトノキを植樹
（和歌山東南RC）
2月にクラブは創立50周年を迎えた。コロナ禍のため記念式典などは先送りになったものの、この歴史を刻む事業の一つとして、開館を目前にした市民会館・和歌山城ホールの前にホルトノキを植え、和歌山市に寄贈した。ホルトノキは江戸中期の博物学者・平賀源内の逸話が残る紀州ゆかりの木。市民や観光客に親しんでもらえればと期待している。
（6月28日 第2640地区 和歌山）

《 ニコニコ箱 》 小林一三 副会計

- 中曾君：本日は庄秀様、海南東RCの阪口洋一様、ようこそお越しくださいました。どうぞ宜しくお願い致します。
- 松田君：国木原のクラブ選手権予選、ぶっちぎりのビリでした。
- 配偶者お誕生日お祝い：山本君。

《 米山記念奨学会 》

- 中曾君・趣旨に賛同して。
- 山田君・2640地区米山奨学生 庄秀様 よろしく願い致します。
- 神谷君：米山奨学事業の発展を願って。

《 ロータリー財団 》

- 土屋君：へき地の被災地からやって来たトイレ難民です。本日は遅くなりました すみません。





♪ 10月 本人・配偶者お誕生日お祝い ♪

♪おめでとうございます。♪



《 委員会報告 》



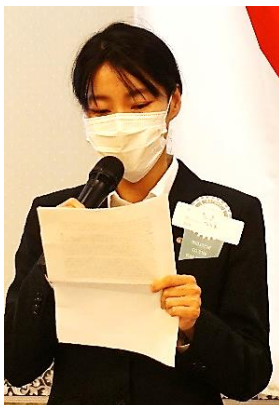
■ 会員増強(職業分類・選考担当)委員長 土屋 一博

先日、皆様にお送りさせていただきました「勝手に候補者記入カード」に可能な範囲でご記入いただきまして、10月25日までに事務局まで返信くださいますよう よろしくお願ひ致します。

クラブ活性化のため、皆様のご協力よろしくお願ひ申し上げます。



クラブフォーラム 米山記念奨学会委員会 卓話「日本での生活」
第2640地区米山奨学生 庄 秀様 (和歌山大学 専攻 修士課程 経営学)



和歌山東南ロータリークラブの皆様、こんばんは、私はロータリー米山奨学生の庄秀と申します。海南東ロータリークラブにお世話になっております。本日卓話にお誘いいただき、ありがとうございます。よろしくお願ひいたします。早速ですが、卓話を始めさせていただきます。それでは、本日の卓話の流れを説明させていただきます。

まずは自己紹介、趣味、日本に留学するきっかけ、実家の大連市、美しい和歌山、研究内容、ロータリークラブにお世話になるきっかけをお話いたします。

私は1992年12月に中国黒竜江省で生まれ、現在28歳です。幼い時に大連市に引っ越してきました。現在、和歌山大学経済学研究科に在籍しています。

2017年に中国の大連市から来日しました。2017年12月から埼玉県中央情報専門学校で、日本語を1年3月勉強しました。2019年4月に和歌山大学大学院の研究生になり、今和歌山大学経済学研究科の2年生です。私の趣味はランニング、旅行と読書です。

大学での研究テーマは日本と中国との高齢者介護サービスを比較して、日本企業の中国への進出の可能性を研究しています。後ほど研究内容の詳細を紹介いたします。

昨年、新型コロナウイルス感染が拡大してから、大学の授業はリモート形式で行われ、アルバイトも少なくなり、体力が落ちた気がしました。これをきっかけで私はランニングを始めました。3キロから5キロを週3-4回走ります。最初は体力をつけるために走っていましたが、ランニングしているうちにだんだんたくさんのメリットを見つけました。走ることによってストレスが解消できることが分かりました。

私は旅行することが好きです。中国では北京や上海などの有名な観光地に加え、古い文化がある杭州等にも行きました。日本の日光江戸村、川崎市などに行ったことがあります。旅行を通して視野が広がり、様々な経験を積むことができる点にとっても魅力を感じています。

そして、日本を留学先に選んだ理由は、叔母が日本に住んでいたため、小さい頃から日本の生活環境がよく、日本の人もとても優しいと聞いていました。財布をなくしても必ずもどってくるということもききました。安全な国などという評価をよく聞きました。

小さい頃、おばからゲーム機やカメラなどのプレゼントをもらって時は、日本の技術はすごいなと思っていました。

日本はすばらしい科学技術を持ち、経済的にも発展した国であり、大学や大学院、企業の研究所では毎日先進的な基礎研究や応用研究が行われ、次々に新しい技術や理論が生み出されています。私はこのような素晴らしい国に留学したいと思って、日本に来ました。

次は実家の大連市を紹介いたします。大連市に行かれたことがある日本人の方がたくさんいらっしゃると思います。大連市は面積12,574 km²、人口：745万人、七つの区があります。

この写真は、旅順と呼ばれる所の旅順駅です。1898年から1903年にかけて、作られました。ロシア風の建築です。駅の中には、中国の一番完備のロシア風のプラットホームが残っています。昔の姿をそのままにして、レトロな雰囲気が満ちています。

次の写真は、大連の中心地にあり、大連市内の近代ゴシック風の代表的な建築です。これは1902年に作られ、当時市内の最初の美術館です。昔、ベラルーシの政府の駐在跡地でした。その後、日本の東海汽船株式会社になりました。ドイツ人がデザインし、ロシア人が出資して建てました。

そして、この写真は遼陽銀行大連支店です。ゴシック風の建築です。面積は3350m²、1908年に作られました。日本人の建築家の前田まつおとさんが設計しました。今は、中国の文化財に指定されています。

これは横浜正金銀行大連支店の跡地です。今は中国銀行遼寧省支店です。1909年に日本人の師妻さんと太田さんによって作られました。面積は2804m²です。

この写真は、1956年から大連ホテルと呼ばれています。昔は、日本の大和ホテルで、1909年から1914年にかけて作られました。面積は11376m²です。洋風の建築です。昔はたくさんの政治家が住んでいました。この写真は、1922年に中村さんと資平さんによって作られた昔の北朝鮮銀行大連支店で、今は中国工商銀行大連支店になっています。歴史がある洋風の建築として、大連市は大切に保護しています。

そして、次は有名な建物として星海湾大橋です。星海湾大橋は中国で初めての海の上に作られた大橋として、2011年から2015年10月にかけて、作られました。全長6キロ、西部と東部とつながっています。この大橋を立て前には、夜5時ぐらいにこの道で2時間ほど渋滞したことがよくあります。星海湾大橋の建設のために、交通渋滞が緩和されました。

次は大連代表的な食べ物、海鮮について紹介いたします。一般的な作り方は調味料を使わずに蒸すことと辛い調味料を使って炒めることです。蒸す作り方は海鮮の本来の味わいを保つことができます。大連市には食べ物の種類はそんなに多くないですが、海鮮はとても新鮮で美味しいです。もし大連に興味がある方はぜひ大連市においでください。

次は、和歌山市についてお話いたします。私は、和歌山に来る前に友達ができるかどうかとても心配していました。でも実際は全くそんなことなく、大学の人が私を誘ってくれました。これによって友達を作ることができ、少しは安心になりました。

そして、和歌山でたくさんな活動に参加しました。和歌山大学の留学生と和歌山の地元のかたとの桃狩り、八朔狩りなどに参加しました。この活動から、日本人のかた、色々な国の留学生と出会って、異なる文化を学びました。とても面白い体験で、人と人の出会いが大切であることを実感しました。

次は大学院の研究についてお話いたします。私の研究テーマは日本と中国との高齢者介護サービスを比較して、日本企業の中国進出の可能性です。現在、中国の高齢化社会を「421 社会」と言います。

「1 人の子供と 2 人の 夫婦、4 人の老人」という典型的な家庭構造から生まれた言葉です。仕事の関係で親子が離れた場所に住むケースが多く、老夫婦二人きり、あるいは独居老人などが増えています、年金がない貧困層の老人達もたくさんおります。子供が両親の面倒をみることはとても困難です。

彼らの多くは老後の生活に深刻な不安を抱えているに違いありませんが、今の中国は福祉制度があんまり進んでいません。そのため、日本の高齢者福祉制度を勉強する必要があり、どのようにして中国の老人福祉制度をととのえる事ができるのかを研究しています。

最後に、私は海南東ロータリークラブの例会に参加して、初めてカウンセラーの阪口さんと会ったとき、海南市内を案内いただき、美味しいお菓子と和風料理をいただきました。海南東ロータリークラブの会員の皆様はすごく親切で、例会後色々雑談しました。

私がロータリー米山奨学生として選ばれたことは、すごく光栄なことだと思っています。昨年から、新型コロナウイルスの影響で、アルバイトの時間が少なくなり、両親から仕送りをしてもらうのも難しく困っていましたが、今年から米山奨学金をいただくおかげで、研究に集中することができ、今修士論文の作成に努力しています。

奨学生としての半年、コロナの影響でロータリーアンの皆様に会う機会が例年より少なくなりました。だからこそ、例会を重視するようになり、例会で皆様と多く交流するようになりました。例会を通して、日本語でのコミュニケーション能力が上達し、初対面の人との会話がだんだんできるようになりました。更に、様々な分野の方と交流することによって、学校で学べないことが勉強できました。

奨学生としてあと半年ですが、皆様と多くの交流するよう、ロータリー精神を勉強するよう、そして就職できるように頑張っていきたいと存じます。

これから、みんなに感謝の気持ちを含め、中国と日本の架け橋になれるように尽力していきたいと思えます。

ご清聴ありがとうございました。



2023-24 年度国際ロータリー会長にゴードン R. マッキナリー氏が選出される

MY ROTARY ニュース・特集記事 05-Aug-2021

記事 Ryan Hyland



ゴードン R. マッキナリー氏(サウスクイーンズフェリー・ロータリークラブ会員)が会長指名委員会により 2023-24 年度国際ロータリー会長として選ばれました。

2023-24 年度国際ロータリー会長の指名委員会により、スコットランド、サウスクイーンズフェリー・ロータリークラブ会員のゴードン R. マッキナリー氏を選ばれました。対抗候補者が出ない場合、10月1日に会長ノミニーとして宣言されます。

マッキナリー氏は、新型コロナウイルス流行の中でテクノロジーを取り入れたロータリーの適応力を高く評価。ロータリーが今後も成長し、人びとの参加を促していくには、ロータリーの過去の慣習の最も良い部分と組み合わせるこのアプローチを継続していくべきだと述べています。

「私たちは、地域社会で互いを思いやる意思があることを学びました。ボランティアという概念を最近受け入れた人たちが今後も奉仕していけるように、

これらの人にロータリー入会を奨励する必要があります」とマッキナリー氏。

また、オンラインでのシニアリーダーとクラブの直接的なコミュニケーションは、好ましい変化として今後もロータリーに残していく必要があるとも述べました。その一方で、「より多くの交流を促進するには対面での会合も依然として重要」と加えています。

会員増強の最善の方法は「エンゲージメント(参加/関わり)」であると考え、マッキナリー氏は、クラブをより良くサポートするには、国際ロータリー、地域リーダー、地区チームのすべてがクラブと関わりあう必要があると述べています。また、ソーシャルメディアを通じたエンゲージメントによって、ロータリーのブランドがより強くなり、ロータリーがもたらす機会を多くの人に知ってもらうことができる、また、政府・企業・その他の団体のエンゲージメントがあることで有意義なパートナーシップが築かれる、とも述べています。

より積極的なエンゲージメントがあれば、「会員基盤だけでなく、より有意義な奉仕をする能力においてもロータリーが成長できる」とし、「会員は組織の活力源です。新しいスタイルのクラブを設立するために、現在可能となっている柔軟性を活用することを奨励していきたいと思います」と語ります。

ダンディー大学を卒業(口腔外科)し、エディンバラで歯科医院を開業。英国小児歯科学協会の元会長のほか、学術分野で数々の役職を歴任。長老派教会の元長老、クイーンズフェリー教区元理事長、教会総会元役員。

1984年にロータリークラブに入会。グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー(RIBI)の会長と副会長、国際ロータリーの理事と各種委員会の委員長を歴任。現在は2022年ヒューストン国際大会委員会のアドバイザーおよび運営審査委員会の副委員長。

妻のヘザーさんとともにメジャードナーおよびベネファクターとしてロータリー財団を支援し、遺贈友の会の会員でもあります。